



「人体反応検査による
ローズオイルを食品・化粧品に用いた場合の効果」 要約版

(原題 : Effects By Examination of Human Reactions
When Using Rose Oil for Food and Cosmetics)

太古のころからどの花よりも多くの人に好まれてきたバラの香り。それが花の女王と呼ばれている所以でもあります。バラの魅力は香りだけではありません。古代より香り以外の貴重な特性も大変珍重され、薬用植物として化粧品や媚薬に使用されてきました。

著名なアロマセラピストのロバート・ティスランドは、ローズオイルがラベンダーやローズマリーとともに最重要精油の一つであると位置づけています。「ローズオイルは強力で濃縮された薬剤であるが、殆ど毒性がなく、全てのオイルの中でも最も皮膚親和性（皮膚にとって有効且つ安全）に優れている」と述べています。それは化粧品にローズオイルが使用される決め手ともなっています。

ローズオイルの人体への効果は神経、循環器及び消化器の各系統に及び、この3方向への効果により、オイルは食品添加物及びあらゆる手法のアロマセラピーに用いられています。これを元に、ブルガリアローズオイルを食品添加物や美容製品の成分として使用した場合の人体反応についての研究計画を策定しました。

1. 食品添加物としてのローズオイル :

ローズオイルを使用した3種の食品添加物<下記>を用意

- ◇ ローズオイルと水-アルコールで抽出したイチョウ葉エキス
- ◇ ローズオイルと粉砂糖
- ◇ ローズオイルと大豆オイル（カプセル入り）

健康な10名の女性に各製品を20日間ずつ、10mgのローズオイルを一日3回服用（一日合計30mg）してもらい、香りと味、好意的反応、否定的反応、全身的反応・感覚についての反応を測定した。

<結果>

ローズオイルの香りは大変力強く、味への刺激が強いため、全被験者がカプセルでの服用を好んだ。イチョウ葉エキスの味と香りは不快な為、数人の被験者はローズオイルが含まれる事にとっても好意的だった。更に重要な結論は、一日あたりのローズオイルの摂取量が的確だったということだ。全く安全で、何の副作用もなく、多くの良好な反応が得られた。調査期間中、全ての被験者が複数の感情の変化を感じ、神経的緊張や怒り、精神疲労やいらつき感など、日常的に起きる不愉快な感情の減退、もしくは消失を評価している。これにより、神経系統へのローズオイルの効果を説明することは容易となった。調査の終わりには、全被験者が改善した状態となり、ローズオイルのカプセルでの継続服用を希望した。

2. 化粧品としてのローズオイル

人体反応を調査する為、下記2種の化粧品を作成して検証した。

- ① 2%濃度のブルガリアローズオイル入り乾燥～脂性肌用マッサージオイル
乾燥肌用にはローズオイルと小麦胚芽油、脂性肌用にはローズオイルとスイートアーモンド油
- ② 0.1%と0.2%濃度のローズオイル入りデイクリーム用乳液

- ① のマッサージオイルの調査は、30歳までの普通肌・脂性肌の5名と50歳以上の乾燥肌の5名の合計10名の女性被験者にて実施し期間は2週間とした。各被験者はそのオイルで1日2回、朝晩にセルフマッサージを実施。顔に5-6滴、首・太陽神経叢・脊椎及び足裏に約20滴を塗布した。

評価基準：香りの質、顔の皮膚への効果、ボディーマッサージの全体的な効果

<結果>

◆香りの質 非常に心地よい

内2名 - ワクワクするような、刺激的

内4名 - 素晴らしい

◆顔の皮膚への効果 とても有効

・マッサージは肌をより柔らかくし、弾力を増し、滑らかになって一段と見栄えが良くなった。

・乾燥肌の被験者全てがしわ取り効果と共に普通肌状態への改善がある程度見られた。

◆その他の身体部分へのマッサージ効果 - 全身的に大変有効

- ・ 強壯、作業能力の増進、リラックス、高揚、情緒安定などの効果があげられた。

悪影響は何一つ見受けられず、全被験者においてマッサージオイルの非常に優れた皮膚忍容性を結果づけた。

- ② の実験用化粧品は乳液タイプの日中用クリームで、1つにブルガリアローズオイルを0.1%、もう1つに0.2%を含んでいる。被験者はこのクリームを1週間毎日、目の周りを含む顔と首に塗布。この限定された調査の目的はクリーム中のローズオイルの量の多少が及ぼす被験者の香りへの反応（肯定的又は否定的）や皮膚への効果を見ることにある。

〈結果〉

- ◆ 非常に心地よく、控えめな香りながら十分な香りの持続があることで、ローズオイル0.1%濃度のクリームの香りがより好まれた。
- ◆ 肌が滑らかで柔らかくなった感じ。
- ◆ 目の周りだけでなく、その他の顔の部分への刺激もない。

総括

- ◆ 食品添加物として使用された際、最終的に人体の汗腺から分泌されるローズオイルのある成分の分析
食品添加物としてのローズオイルの研究中、我々は被験者の脇から分泌された汗のサンプルを採取しました。この採取されたサンプルはエタノールにより抽出され、濃縮された後にガスクロマトフィー分析にかけました。この調査において、汗とともにグラニオールやその他ローズオイルの主要成分は検出されませんでした。
- ◆ ローズオイルは化粧品成分として非常に適した品質を有し、ブルガリアローズオイルの自然の香りはその製品の天然性、安全性と有効作用を保證するものとして非常に高く受け入れられていることが分かりました。